平成２８年度

読書活動推進に係る各校の特色ある取組

実践事例集

平成２９年３月

廿日市市教育委員会

平成２８年度　読書活動推進に係る各校の特色ある取組　実践事例集

目　　次

〈学校名等〉		〈タイトル〉	〈ページ〉
1	廿日市小学校	本はともだち	1
2	平良小学校	児童の望ましい読書習慣の形成を図り、日常生活において読書活動を活発にするための取組	2
3	原小学校	よい本をたくさん読もう	3，4
4	宮内小学校	本に親しめる図書室をめざして	5，6
5	地御前小学校	本に親しもう！本の世界を広げよう	7，8
6	佐方小学校	本に親しもう、本を活用しよう	9
7	阿品台東小学校	本に親しみ　自ら学ぶ　阿東っ子	10，11
8	阿品台西小学校	本に親しみ、すすんで本を読もう	12，13
9	金剛寺小学校	楽しもう　広げよう　読書の世界	14，15
10	宮園小学校	たくさん本を読もう	16，17
11	四季が丘小学校	読書習慣を身につけさせ、心豊かな人間性を育成する	18，19
12	友和小学校	自ら本を選び　読書の幅を拡げよう	20，21
13	津田小学校	読書って楽しいな！本っておもしろい！	22，23
14	吉和小・中学校	ことばや心をみがく読書活動の取組	24，25
15	大野東小学校	本に親しみ、自ら学ぶ子どもを育てる取組	26，27
16	大野西小学校	本に親しみ　めざせ　年間一人５０冊	28，29
17	宮島小・中学校	楽しく読んで詳しく学ぶ	30，31
18	廿日市中学校	本から学び、生き方を輝かせる	32
19	七尾中学校	生徒が読書に関心を持ち親むことができる取組	33
20	阿品台中学校	「読書習慣を促す取組」と「読書の質を高める取組」	34，35
21	野坂中学校	「たくさん読む」ための取組	36
22	四季が丘中学校	生徒の委員会活動を中心とした学校図書館	37
23	佐伯中学校	競争しながらたくさん読もう！図書委員会の取組を中心に	38
24	大野中学校	本を読んで説明する力をつけよう	39
25	大野東中学校	本を読むことが好きな生徒を育てるための取組	40
26	廿日市市教育委員会	平成２８年度読書活動に係る取組	41

廿日市市立廿日市小学校
～本はともだち～

異学年読み聞かせ

取組１　本を読むきっかけの提供

○異学年読み聞かせ

４～６年生の児童が１～３年生の各学級で読み聞かせ

○様々な図書イベント

・読書ビンゴ：読んだことのない分類や作者の本を読むきっかけ作り

・ヨモヨモチャレンジ：その学年の間に読むとよい本２０冊を紹介
リストを全員のカードに貼り，１冊借りて読むごとに１スタンプ

・図書委員おすすめの本・図書おみくじ

○読書活動推進員によるブックトーク

ヨモヨモチャレンジコーナー

ブックトーク

取組２　本を読むことの習慣化

○朝読書

○読書冊数の目標の明確化（年間50冊）

・学期ごとに目標をもたせる。１学期末までに１５冊，２学期末までに図書カード２枚。

・カードの１５冊目，５０冊目のところに赤でラインを引き，視覚的に５０冊を意識づける。

・毎月，読書活動推進員による全児童の貸出冊数の報告→読書への意欲づけ

○家庭読書のススメ

・図書だより等で，家族での読書を啓発

国語科「和の文化について調べよう」

取組３　読む力の育成

○国語科における並行読書

・「読むこと」と「書くこと」「話すこと」とを関連付けた学習

○総合的な学習の時間，社会科における調べ学習

・百科事典の使い方の指導

取組４　読書環境の整備

○特別展示コーナー

季節の行事に関する本・ブックトークで紹介した本

先生のおすすめの本などのコーナー

先生おすすめの本

○配架の工夫

・低学年の読みものは下段へ。

・一目で分かりやすいラベル。

ラベルの工夫（低学年用）

廿日市市立平良小学校

～児童の望ましい読書習慣の形成を図り，日常生活において読書活動を活発にするための取組　～

取組１　本を読むきっかけの提供

○　図書室への来室を促す工夫

・季節や行事に関連した本の紹介コーナー

・楽しく読書に誘うコーナーやイベント

（「図書室クイズ」，「図書ビンゴ」など）

取組２　本を読むことの習慣化

○　読み聞かせ

・読書ボランティアグループの読み聞かせ

（月曜日昼休憩に交流棟にて行う）

・保護者ボランティアの読み聞かせ

（金曜日の朝の読書の時間に各クラスで行う）

・読書推進員による読み聞かせ・ブックトーク

（図書室利用時に希望クラスに行う）

・放送委員会児童による読み聞かせ

（給食時間の放送で行う）

○　年間目標の設定

年間読書目標を５０冊としている。貸出カードが１枚終わるごとに「しおり」を渡し意欲付けをしている。よりたくさんの本を読めるように，児童からの希望に応えて，今年度２学期から図書の貸出しを１回につき２冊借りることができるようにした。また，月ごとに個人の貸出冊数を集計して報告し，読書活動推進に生かしている。

取組３　読む力の育成

○　学習活動への本や資料の貸出し

・総合的な学習の時間などの調べ学習（図鑑・百科事典・各分野の本）読書推進員による図鑑や百科事典の使い方指導の実施。

・国語科などの作者やテーマに沿った読書（物語・説明文）

・図画工作科などの図や絵画作成の参考

取組４　読書環境の整備

○　図書の紹介（通信・展示）

・「図書だより」（毎月）

・読書推進員による本の紹介

・図書委員(児童)おすすめの本の紹介（ポップ作成）

廿日市市立原小学校
～よい本をたくさん読もう～

取組１　本を読むきっかけの提供

・読み聞かせボランティアや職員による読み聞かせや本の紹介

＜毎週火曜日，朝の読み聞かせの実施＞

＜読書活動推進員と読み聞かせボランティア合同のお話会実施＞

「子ども読書の日」

「古典の日」

・市民図書館のブックトークや昔話の出前の活用

　中・高学年はブックトーク，低学年は昔話の出前を体験

・新刊図書コーナーやお勧めの本のコーナーの設置

・図書委員会児童による本の紹介，図書クイズの実施

　毎週金曜日の昼の放送で紹介・図書クイズ

　朝会でロール紙芝居によるお話会の実施

＜図書委員会の発表＞

取組２　本を読むことの習慣化

・全校一斉の朝の読書の実施（月・水曜日）

・毎週金曜日の２冊デー

　週末は２冊借りて持ち帰り，家でも読書

・読書活動推進員による月１回の「図書館だより」の発行

　読み聞かせや出前講座で出された本や新刊を紹介し，家庭での読書をお勧め

・毎月第４金曜日の移動図書館（たんぽぽ号）の活用

　入学時に，市民図書館の図書カードを作成

　昼休憩に本の返却・貸出

　前の週・前日・当日に，図書委員が放送でお知らせ

取組３　読む力の育成

・各教科での調べ学習や単元後の読書活動で図書室を利用

　読書活動推進員と連携し，学習に必要な本をそろえ，

レファレンスを実施

・学級で読書冊数や量の目標を決めて読書量を増やす取組

　冊数の表，読書ノートなど

＜高学年の目標冊数表＞

・国語で学習したお話の音読や，紹介したい本を他学年に

読み聞かせの出前

＜低学年の出前＞

＜高学年の出前読み聞かせ＞

・行事や朝会の場での発表の機会

　全員に発表の機会を確保し，それに向けて必要な本を読んだり調べたりして準備

取組４　読書環境の整備

・各コーナーの設置

＜新刊コーナー＞

＜季節の本のコーナー＞

他に

　放送で紹介した本

　図書クイズで取り上げた本

など

・床に座ってゆったり読書できるカーペットスペースの設置

・情報が古い本や，傷みがひどい本の廃棄

・本棚の整理

＜書架見出しプレートにより，作者順に配架＞

＜ゆとりのある配架＞

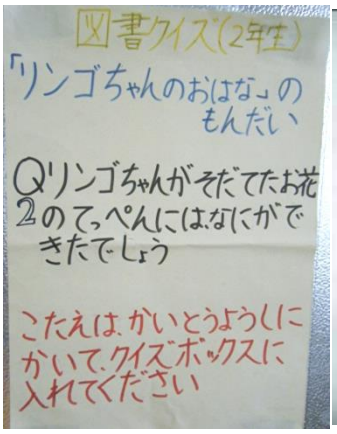
廿日市市立宮内小学校
～本に親しめる図書室をめざして～

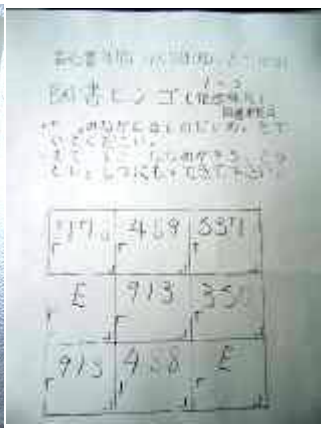
取組１　本を読むきっかけの提供

① 学年ごとに必読書を選定し，必ず読む本を１年間で読むよう推進しています。また，教科書に出てくる本を学年ごとに並べ，並行読書をすすめています。

② 図書委員による読み聞かせを低学年に行い，本に親しませるようにしています。

③ 読書週間には，図書委員による「読書まつり」を行いました。「図書クイズ」や「図書ビンゴ」を企画しました。「図書ビンゴ」では，幅広い種類の本を読んでもらうために，分類番号によるものにしました。





取組２　本を読むことの習慣化

① 始業前の「朝の読書」を継続して行っています。また，毎週水曜日には，地域ボランティア「ぐるんぱ」の方に読み聞かせをしてもらっています。

② 図書カードはバーコードで読み取り，パソコンで貸し借りがスムーズに行えるようになっています。カードに色別のポイントカードが貼ってあり，カードがいっぱいになると，図書委員特製の「しおり」がもらえます。たくさん本を読んでいる児童は，ポイントカードの色で分かるので，早く違う色のポイントカードになりたいと図書室で本を借りる励みになっています。

取組３　読む力の育成

① 廿日市市読書活動推進員と担任とで，「百科事典の引き方」を１～４年生の児童に指導しました。紙芝居を使い，引き方の説明をします。そのあと，カードの言葉を実際に引いていきました。語彙を増やし，調べ学習がスムーズに行えるようにします。

② 図書室の本を利用した，調べ学習を推進しています。国語科で取り組み，出来上がったものは図書室に置いておくことにしました。

取組４　読書環境の整備

① 児童が本を選びやすいように　ジャンル別に配架しています。

② 図書室の本の並び方にも関心をもってもらうよう，分類の仕方を掲示しています。児童が自分で本を元の場所に返却できるようにしています。

③１．２年生が，絵本から物語への移行がスムーズにできるように，「１．２ねんにおすすめ」の本のコーナーをつくりました。少し長い文が読めるようになった児童は，このコーナーから本を選ぶことができます。

③ 季節ごとにコーナーを工夫し，配架しています。

廿日市市立地御前小学校
～本に親しもう！本の世界を広げよう～

取組１　本を読むきっかけの提供

・地御前おすすめの本２０冊

各学年に２０冊ずつのおすすめの本を選書し，コーナーを設置している。目標冊数を読めたらシールを渡した。

・市民図書館から来ていただき，6 年生にブックトークを実施

・「子ども読書の日」の取り組み

学級ごとに，読み聞かせと図書室の使い方や分類について説明をした。

・「古典の日」の取り組み

古典の日と俳句の紹介を行い，学年ごとの課題の俳句を暗唱させた。（校長から合格シールを渡した。）

・読書ボランティアの活用

毎週金曜日の朝の読書タイムに１～3 年生を中心に地域の方や保護者がボランティアで読み聞かせを行った。

・読書週間の取り組み

担任が他の学級に行って読み聞かせを行う「シャッフル読み聞かせ」や，図書室での「図書クイズ」や「読書ビンゴ」を行った。

取組２　本を読むことの習慣化

・「親子読書」の実施

学期ごとに「親子読書」を１週間行って，読書した回数を記録した。また，期間中は，保護者にも図書室を開放し，貸し出しを行った。

・朝の読書タイムの実施

月・火・金の８：２０～８：３０に全校一斉に読書をしている。

・個人別貸し出し状況の配布

学校として，年間 50 冊以上の本を読むことを目標にかかげているので，教職員が児童一人一人の貸し出し数を把握するために，毎月個人別，学級別に貸し出し状況を集計したものを学級担任に配布している。

・図書便りの発行・・・毎月発行している。

取組３　読む力の育成

・本を紹介する取り組み

図書委員会の児童が自分で低学年・中学年・高学年におすすめしたい本を選び，朝の読書タイムに各教室で紹介した。電子黒板を使って紹介することで児童に挿絵を大きく紹介できた。

（おすすめしたい本の紹介の様子）

取組４　読書環境の整備

・学校図書館の充実（掲示物や配架の工夫）

季節，行事ごとに図書室の展示を変え，それに応じてその月のおすすめの本を紹介する。

また，簡単なポップを作り，読んでほしい本を紹介している。

（図書委員会おすすめの本を図書室前に展示）

（いじめについて考える本の展示）

（「ビーバーの大工事」に関連する本の展示）

（季節「クリスマス」の本の展示）

（６年生が書いた平和の本のポップと本の展示）

廿日市市立佐方小学校
～本に親しもう，本を活用しよう～

取組１　本を読むきっかけの提供

「古典の日」の取組

・読書活動推進員や読み聞かせボランティアによる読み聞かせ
　　→低学年を中心に，毎週火曜日朝の読み聞かせを実施
・図書委員や放送委員による読み聞かせ
　　→休み時間や給食時間に読み聞かせを実施
・広島県立図書館の本の貸し出し事業の活用
・「新刊図書」「季節に合ったお勧めの本」「古典の日」コーナーの設置
・「子ども読書の日」では，担任による読み聞かせを実施（４月）
・秋の読書プロジェクト実施
　　→分類ビンゴを実施して，様々なジャンルの本を
　　読んでもらうことで，興味の幅を広げるための取組
・読書活動推進員による，調べ学習を行う際の図書館活用法の指導
　　→百科事典の活用法や本の分類等について

「子ども読書の日」の取組

取組２　本を読むことの習慣化

・毎週，月・火・木は１０分間の朝読書
・貸し出し数「年間５５冊」を目標に，各月ごとの貸し出し冊数を集計し各学級へお知らせ
・読書名人認定の取組
　　→読書名人（６０冊），読書達人（１２０冊），読書鉄人（１８０冊），
　　読書超人（２４０冊），読書仙人（３００冊）
・読書活動推進員による「図書だより」の発行

読書名人認定

取組３　読む力の育成

・各教科の調べ学習等で図書館の活用推進
・読書活動推進員による，選書や調べ学習の補助等の授業支援

取組４　読書環境の整備

・選書を容易にするため，本の内容に関連したポスターの掲示と
　棚サインの掲示
・図書室入り口には，季節の掲示を行い図書室へ足を運びやすい
　ような雰囲気づくり
・季節の本の展示コーナーを設ける
・保護者に向けて，古本提供の呼びかけ
　　→提供していただいた古本については，各学級文庫に配分

季節の本　展示コーナー

廿日市市立阿品台東小学校
～本に親しみ　自ら学ぶ　阿東っ子～

取組１　本を読むきっかけの提供

・推薦図書の紹介　子どもに読ませたい本 201（はつかいち）冊の選書・リストを作成し,各クラスへ図書室文庫として巡回させる。その後は図書室へコーナーを設け展示する。

・「子ども読書の日」の取り組み

朝読書の時間に担任及び・読書活動推進員による読み聞かせを行う。

・「古典の日」の取り組み

11/1 に「古典の日」の由来について読書活動推進員がお昼に放送を行い,図書室で古典の読み聞かせを行う。

古典の本コーナーを設ける

図書便りに古典クイズ掲載し正解者には手作りしおりをプレゼントする。

・読書ボランティアの活用

朝読書の時間に地域のボランティアの方々による読み聞せを行う。

・読み聞かせ　毎月第二火曜日を「きらり読書の日」とし,昼休憩に読書活動推進員による読み聞かせを行い,家庭でも「ノーテレビ・ノーゲームの日」として読書を薦める。

金曜日の昼休憩に担当を決め,図書委員による読み聞かせを行う。

・ブックトーク　授業の単元に関連する本を収集し,ブックトークを行う。

・図書まつりの開催　ポイントカードを作製し,ゴールした児童に手作りしおりをプレゼントする。

・図書だより　毎月発行

・多読の児童表彰　学年ごとに多読の児童 1 位～3 位の児童に賞状を渡す。

取組２　本を読むことの習慣化

・全校一斉朝読書（毎週 2 回）の取り組み

・図書室文庫　各クラスに年間通じて人数分(30～40 冊)おすすめの本を専用ケース入れ,本を貸し出す。約一ヶ月ごとに文庫をクラス交換する。

取組３　読む力の育成

・本を紹介する取り組み

①「読書ゆうびん」を行う。全校児童がピアサポートと届けたい友達へおすすめの本をはがきに記入し,ポストへ投函し, 図書委員が配達する。先生方がおすすめする本もはがきに記入し,図書室へ本と一緒に展示する。

② 図書委員がおすすめ本の POP を作製し,児童朝会で紹介した後,掲示板に展示する。

・「書く」「発表する」機会の充実

① 百科事典の引き方（全学年対象…学年に添った内容で）のオリエンテーションを行う。

百科事典の専用紙芝居で各名称・引き方を説明後に実際に各自に 1 つ問題カードを出題し,調べさせ報告書に記入させる。

② 本の分類（1～3 年）についてのオリエンテーションを行う。

本の分類の専用紙芝居で説明後に児童に多数のカードを用いてなかまわけの発表をさせる。

・自分の考えを持たせる取り組み

図書委員が「いじめ防止月間」にいじめに関する本を読み,感想を書いてそれらの本と一緒に図書室へ展示する。

取組４　読書環境の整備

・学校図書館の充実（掲示物や配架の工夫）

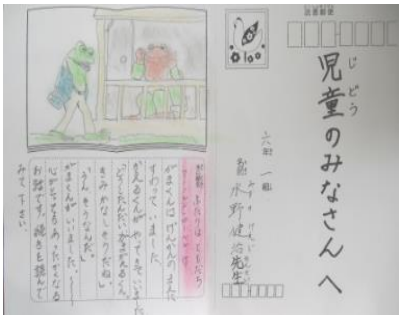
「子どもによませたい本 201（はつかいち）冊」のリスト・本展示

「古典の日」の取り組み

新しく入った本の展示

季節にそった本の展示

いじめ防止の本コーナー



読書ゆうびん（児童と先生の作品）

廿日市市立阿品台西小学校
～本に親しみ，すすんで本を読もう～

取組１　本を読むきっかけの提供

・「子ども読書の日」の取組

学年ごとに，読書ボランティアの方による読み聞かせを行った。

・読書ボランティアの活用（朝・昼の読み聞かせ）

各クラスで，学期に１～２回読書ボランティアによる読み聞かせを行っている。季節や学習に関わる本も取り入れる等，子ども達がさまざま本に出会うことができるよい機会となっている。昼休憩にも，全校児童を対象に行っている。

・市民図書館の事業活用（「昔話講座」２・４年）

今まで読んだことのない本や知っている物語でも細部が異なる物語との出会いから，すすんでそれらの本を読むようになった。

・委員会の取組（おすすめの本紹介）

委員会朝会で，おすすめの本の紹介を行い，図書室にコーナーを設置した。

・子ども司書の取組

６年生の子ども司書の児童が，１年生に読み聞かせを行った。

・担任の取組

アニマシオンを行ったクラスもあった。

取組２　本を読むことの習慣化

・全校一斉読書の取組

毎朝１５分間，全校で朝の読書を行っている。

・読書活動の推進

国語科の一環で，学年に応じた読書活動を行った。

・保護者への啓発（図書だより・家庭読書の推進）

毎月，読書活動推進員の先生が「図書だより」を発行し，本の紹介や図書館教育の取組等を知らせている。また，週末読書を行う等，家庭での読書の推進を図った。

取組３　**読む力の育成**

・国語を中心とした「書く」「発表する」機会の充実（紹介文・感想文・ビブリオバトル）

国語の授業を中心に，自分のおすすめの本の紹介をしたり，読書感想文を書いたりし，友達に伝える学習を行った。

自分のおすすめ本を発表し，クラスでチャンプ本を決めたりするビブリオバトルを行ったクラスもあった。

取組４　**読書環境の整備**

・学級文庫の設置

各クラスに学級文庫を設置し，すぐ手にとって本を読めるようにしている。児童の実態や学習に合わせて，図書室の本やはつかいち市民図書館やはつかいち市民大野図書館の本を借りて，置いている。

・図書室の整備

子どもが読みたい本が，見つけやすくなるよう配架や掲示を工夫している。

季節の本，古典の日にちなんだ本，学年ごとのおすすめの本，図書委員会や先生のおすすめの本などのコーナーも設けている。

廿日市市立金剛寺小学校
～楽しもう　広げよう　読書の世界～

取組１　本を読むきっかけの提供

○「子ども読書の日」の紹介

・読書に親しむことの大切さをポスター掲示等で伝え，読み聞かせボランティアの第１回の読み聞かせを行う。

○「おすすめの図書」の紹介

・季節や行事に合わせた図書，普段なかなか手にとってもらえない図書，図書委員会のおすすめの図書などのコーナーを作り，推薦理由などをポップにして掲示する。

○昔話の出前授業

・全学年，市民図書館の出前授業を行い，使用した図書の貸し出しを利用する。

○図書委員会の読み聞かせ

・火曜日の昼休憩に，図書委員会でお話し会を行う。カードにスタンプを押していっぱいになったら，手作りのしおりをプレゼントする。

○「おはなしたまてばこ」

・教職員が児童に読み聞かせたい本を選んで読み聞かせをする。

取組２　本を読むことの習慣化

○朝の読書タイム

・毎週火曜日と木曜日の朝に１５分間の読書タイム３～４学年ずつ，順番に読み聞かせを行う。

○図書委員会の活動

・図書の貸し出しや返却がスムーズにできるよう，窓口の仕事や書棚の整理をする。

・しおりを手作りし，図書の貸し出し数が５０冊に達成したときにわたす。

・学期ごとに賞状を作って，図書を多く借りた人を表彰する。

・「秋の読書まつりビンゴ」活動で，多様な図書を読む機会を作る。ビンゴ達成者を掲示物や図書新聞等で紹介し，手作りのしおりをプレゼントする。

・読書推進員は毎月，図書委員会では学期に１回新聞を発行し，図書の紹介をする。

○「親子読書」の取組み

・親子読書について紹介し，取組み後の感想を掲示して紹介する。

取組３　読む力の育成

○教科との関連

・本を読み，心に残った場面や文章から感想文を書いたり帯を作ったりして交流する。

・国語科や総合的な学習の時間での調べ学習で多様な図書を活用して資料を集め，整理して意見文を書いたり新聞を作ったりする。

・読んだ本を参考にして物語を作り，図書室に置いて他学年に読んでもらう。

取組４　読書環境の整備

○入り口や図書室内に季節に合わせた物を展示し，それに関連する図書を置く。また，ドアに図書委員会の手作りしおりを掲示して，読書への意欲を持たせる。

○書棚の整理を行い，古い図書を廃棄したり必要な新書を購入したりする。

○学級図書を見回り，古い図書を廃棄したり必要な図書を図書室から移動させたりする。

廿日市市立宮園小学校
～たくさん本を読もう～

取組１　本を読むきっかけの提供

①　「子ども読書の日」の取組について

いろはかるた大会を実施した。

４月２６日～２８日，５月１０日～１２日の休憩時間に，いろはかるたの読み札を読みたいと立候補した児童が読み，その時間に集まった児童がかるたをとって，かるた大会を楽しんだ。

学校全体で行った
２学期最後の読み聞かせ

②　読書ボランティアによる読み聞かせについて

毎週水曜日８時３０分から８時４０分の１０分間，各学級で実施している。

取組２　本を読むことの習慣化

①　朝の読書について

各学級，毎週月・火・木曜日の８時３０分から８時４０分の１０分間行っている。

②　図書委員会の取組について

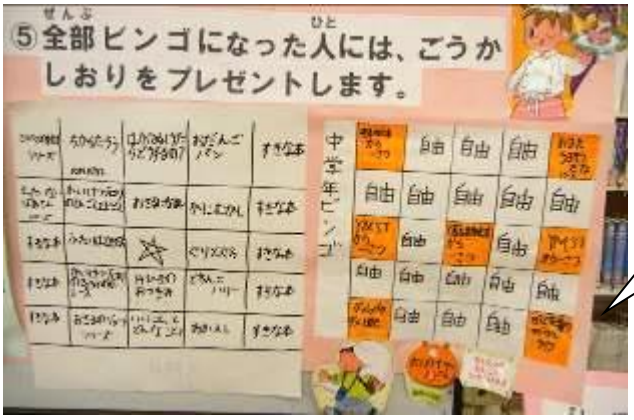
・ポップ作り

図書委員一人一冊，低学年，中学年，高学年向けのおすすめの本を選んで，ポップを作り，図書室に掲示した。

・児童朝会で図書クイズの発表・掲示

・たくさん本を読んだ児童（各学年１名）に学期ごとに表彰をしている。

③　図書ビンゴ



低学年，中学年，高学年ごとに，図書委員会の児童が２５冊本を選び，ビンゴの紙を作成した。

取組３　読む力の育成

国語科や総合的な学習の時間などの授業において，図書室の本を活用している。

例）

①　１年：絵本を読んで，好きな登場人物を書いた本の紹介カード作り

②　２年：動物について書いてある本を読んで，動物クイズ作り

③　４年：兄弟姉妹・家族に関する絵本を読んで，学級みんなでブックトーク

④　６年：総合「日本文化再発見」の学習で，茶道・華道・水墨画などの本を読んで，新聞作り

取組４　読書環境の整備

①　○冊達成おめでとうカードの掲示

②　図書室の環境整備

「古典の日」コーナー

昔話コーナー

いろいろな本に親しむことができるように，季節や行事に合わせて様々な本を紹介するコーナーを設置している。

廿日市市立四季が丘小学校

～読書習慣を身につけさせ，心豊かな人間性を育成する～

取組１　本を読むきっかけの提供

・学年毎に推薦図書を選定し紹介している。

・「子ども読書の日」はボランティアの方と担任による読み聞かせ，「古典の日」は担任のシャッフル読み聞かせをして子供達に好評だった。

・毎週木曜日の朝と第２金曜日の昼休みにボランティアさんによる読み聞かせ，読書活動推進員による図書の時間の読み聞かせやブックトークがある。

・１年生～3 年生は市民図書館の「昔話の出前派遣事業」を活用した。

・先生方・図書委員のおすすめの本を展示紹介。

・学期毎に図書まつり（6 月スタンプリレー・11 月図書クイズ）を開催し参加者には図書委員手作りのしおりや 2 冊貸し出し券をプレゼントした。

古典の日の読み聞かせ

エプロンシアター

図書委員のおすすめ

２学期の図書まつり

取組２　本を読むことの習慣化

・毎週木曜日の一斉朝読書の取り組み（ボランティアさんの読み聞かせがないクラスで行う。）

・図書室だよりを毎月発行する。新しい本や月毎の展示コーナーの本の紹介，図書室の状況を載せて家庭での読書の話題の一つになればと考えている。

・年間一人５０冊の貸し出し目標をたて達成者には「５０冊達成カード」を図書委員が各クラスに行って手渡している。

取組３　読む力の育成

・4～6 年生は総合的な学習の時間で「防災」に取り組み，全校で防災標語を作った。

・図書委員会主催ポップコンテストの開催・・図書委員が見本のポップやポスターを持って担当のクラスへ行き参加を募った。

・子ども司書によるポスターの作成や読み聞かせをした。
・１年生はいろいろな本を読んで好きな登場人物の紹介をした。

防災標語

ポップコンテスト

子ども司書の読み聞かせ

１年生の作品

取組４　読書環境の整備

・年に２回ＰＴＡの文化委員さんによる各学級文庫のシャッフルや本の修理，図書室の整備のお手伝いをしていただいている。
・図書室の掲示物や配架の工夫

図書室の入口

廊下の掲示

図書まつり

新しい本のコーナー

季節の展示コーナー

廿日市市立友和小学校
～自ら本を選び 読書の幅を拡げよう　～

取組１　本を読むきっかけの提供

・「子ども読書の日」朝の読書時間に学校全体で，担任による読み聞かせをおこなった。

・「古典の日」学習発表会にて５年生が「古典の日」にちなんだ発表をし，全校生徒の中で古典の日の認識が深まり，図書室でも「古典スタンプラリー」を開催。たくさんの古典作品に触れることができた。

・毎週水曜日は，読書ボランティア「ポエム」さんの読み聞かせが行われる。

＜子ども読書の日＞

＜古典スタンプラリー＞

＜ポエムさんによる読み聞かせ＞

・学習中の単元に関連した本を，廊下または教室に展示することで，児童が本を手に取る機会を増やす。また，普段自分では選ばないような本を読むことで学習の幅や読書の幅が拡がる。

＜５年 ファンタジーの世界＞

＜５年　詩のコーナー＞

＜２年　動物のひみつクイズ＞

取組２　本を読むことの習慣化

・１年に５回行われる，「さいきっ子カード」週間にて，読書時間１５分以上を定めることで，その期間，意識して読書をする児童が増える。

・１０月の１ヶ月間，各クラスにて「リレー読書」を実施。朝の読書タイムと給食準備中などを利用して，クラスで同じ本を共有した。

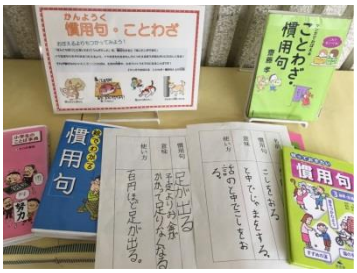
・１年間に５０冊の本を借りることを目標に，図書カードを改良した。
自分の目標，学期毎に何冊読んだかを明確にし，５０冊達成するごとに図書カードの表紙にスタンプを押すことで，達成したい気持ちを高める。

・年度末に５０冊以上読んだ児童には「達成賞」１００冊以上読んだ児童には「たくさん本を読んだで賞」の表彰をした。

取組３　読む力の育成

・図書委員会の本の紹介として，年に２回，本のポップを作成した。委員会朝会では，劇仕立てで全校児童の前で本の紹介をし，その後ポップは図書室で活用した。

＜取組１の「廊下展示」の本を利用して作成したポップ＞



＜３年生　ことわざ・慣用句＞＜１年生　のりものずかん＞＜２年生　動物のひみつクイズ＞

取組４　読書環境の整備

・古典の日，ハロウィンなどの季節に合わせたコーナー作りをしている。
・学年毎に国語の教科書で紹介されている本を集めた本棚を図書室に設置し，学年ごとに色の違うシールをつけて分類している。
・借りた本を自分で元に戻すルールを，今年度より本格的に始動した。それに従い，４月のオリエンテーションや図書便りなどで，ラベルの意味の説明をし，本の分類クイズなどでも確認した。ラベルの意味を知ることで，自分で本を探せるようになる。

廿日市市立津田小学校
～読書って楽しいな！本っておもしろい！～

取組１　本を読むきっかけの提供

・週末読書の取組

毎週金曜日に，全児童が学級内で順番に回している小さな本を家庭に持ち帰ります。その本をそれぞれの家庭で，一緒に読んだり，家の人に読んでもらったり，家の人に読んで聞かせたりします。読んだ後は，その本の「おすすめ度」の☆のマークに色を塗り，次の児童へとつないでいきます。家庭での会話やふれあいのきっかけになったり，次に回ってくる本を楽しみにしたりしています。

・読書ボランティア「絵本のとびら」によるパネルシアター

毎週木曜日の朝の時間に，「絵本のとびら」（地域や保護者ボランティア）による読み聞かせが行われています。毎週どんな本を読んでもらえるか，子ども達は楽しみにしています。

「古典の日」の一環として全学年向けに「かにむかし」のパネルシアターを見せてもらいました。楽しい絵が次々と出てきて，お話の世界にひきこまれました。

取組２　本を読むことの習慣化

・朝の読書タイム

毎週月・火・木曜日，８時２０分～８時３０分の１０分間が「朝の読書タイム」です。教室で各自が読みたい本と向き合って静かに読んでいます。

・表彰

学年末には，たくさん本を借りて読んだ児童を，放送で表彰しています。他の児童への啓発にもなればと考えています。

取組３　読む力の育成

・図書委員の活動

①おすすめの本の掲示

図書委員がおもしろいと感じた本を紹介するコーナーを作って，全学年の児童が，その本を手に取って読んでみたいと思えるように仕組みました。紹介された本を借りる児童が増えています。図書委員以外の児童も，自主的に紹介コーナーに文と絵を描いてくれ，掲示コーナーがにぎやかになっています。

図書委員以外の児童のおすすめの本も紹介され，活動が広がっています。

②読み聞かせ

「にゃーご」の大型絵本の読み聞かせを昼休憩に行いました。低学年を中心にたくさんの児童が静かにお話を聞いて楽しみました。

取組４　読書環境の整備

図書室では，学年ごとにおすすめの本をまとめたり，国語の学習とリンクさせて言葉やことわざに興味がわくような展示をしたり，どんな本を読んだらいいか迷っている児童の助けとなるように工夫しています。

「ことばを楽しもう！」のコーナー

「伝記を読もう」のコーナー

廿日市市立吉和小・中学校
～ことばや心をみがく読書活動の取組～

取組１　本を読むきっかけの提供

○「子ども読書の日」の取組

ペープサート「給食番長」

・学校の生徒が給食センターのおばちゃんの気持ちに気付く物語をペープサートにしました。

・背景を吉和中学校の給食センターの写真にし，自分の事として考えられるよう工夫しました。

感情がこもっていてよかったです。読んでみたくなりました！

児童

○「図書館祭り」の取組

「宝探しゲーム」

・ヒントカードをもとに，グループで本を探しながらゴールを目指しました。

・最後に，手作りのしおりを景品として配りました。

どこにどんな本があるのか，
知ってもらうことができました！

図書委員

取組２　本を読むことの習慣化

○１年間の取組

「本の冊数グラフ」

・読んだ本の冊数を毎月集計し，個人別に表彰しました。

「朝読書」

・朝 10 分間教室で読書をしています。

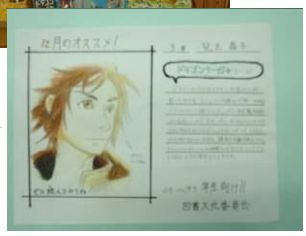
取組３　読む力の育成

○授業や委員会の取組

・様々な授業の中で，調べ学習をしています。また，月１回の委員会活動では，図書文化委員がおすすめの本を要約し，紹介しています。

総合的な学習の時間の調べ学習

図書文化委員によるおすすめの本の紹介



取組４　読書環境の整備

○ろうかの環境

・吉和小中学校では，ろうかの至る所の本棚に，本が置いてあり，いつでも好きなときに本を手に取れるようになっています。

廿日市市立大野東小学校
～本に親しみ，自ら学ぶ子どもを育てる取組～

取組１　本を読むきっかけの提供

○イベントを通じた読書活動の普及･充実
- 「古典の日」に合わせ，図書室内に特設展示スペースを設け，古典文学に親しみやすい環境づくりに取り組んだほか，読書活動推進員による絵本の読み聞かせを行った。
- ＴＶで話題のドラマの原作本を図書室前廊下に展示し，図書室利用を促す取組を行った。

○地域との連携
- 毎週水曜日と金曜日の朝帯の時間に読書ボランティアによる読み聞かせを実施している。
- 低学年を中心に，学期に１回ずつ，保護者ボランティアによる読み聞かせやブラックシアターを実施している。

○図書だよりの発行
- 読書活動推進員が，月に１回程度，本の紹介やイベントを知らせる図書だよりを発行した。長期休業前には，おすすめの本をあらすじとともに紹介し，本を手に取ってみたくなる工夫をした。

取組２　本を読むことの習慣化

○全校一斉読書の実施
- 昨年度から，給食配膳中と食後に読書タイムを設定している。読書タイムの間は音楽を流し，落ち着いた雰囲気の中で読書に取り組む習慣をつけさせている。

○貸し出し冊数を増やす工夫
- 年間読書目標冊数を５０冊とし，読んだ冊数に応じて「しおり」や「賞状」を渡している。５０冊達成者は，児童玄関前廊下掲示板の読書の木の花に名前が記される。また，全担任が，担当クラスの児童の貸し出し状況を把握できるよう，読書活動推進員から毎月，児童一人一人の読書冊数を知らせてもらい，各クラスの実態に応じた取組ができるようにしている。
- １週間に１度は図書室に来室し，本を借りることを目的として，６月１日から６月３０日までの１ヶ月間，「ポイント制度」を導入した。１週間に１ポイントずつたまり，２ポイントたまると２冊貸し出し券がもらえるシステムである。多くの児童が参加し，来室数も増えた。
- 秋の読書週間の催しとして，図書委員が中心となって「図書まつり」を計画し，次のような取組を行った。

≪図書クイズ≫
　図書委員が低・中・高学年別の問題を作成し，全問正解した人には，図書委員が作ったしおりをプレゼントした。
≪読書ビンゴ≫
　いろいろなジャンルの本が読めるように，分類記号を記入したビンゴカードを使用し，ビンゴになると２冊貸出券がもらえるようにした。図書委員の発案で，ビンゴカードは，しおりとしても使えるようにし，自分の読書の足跡が残るしおりとなった。

○親子読書の実施

・秋の読書週間に合わせて，8 日間，各家庭で親子読書に取り組んだ。初めての試みだったが，「久しぶりに読み聞かせをしてあげて，コミュニケーションが取れた。」などと，好評であった。

取組３　読む力の育成

○図書委員の取組

・学期に１度，図書委員による読み聞かせを行っている。

・長期休業前の貸し出しに合わせて，低・中・高学年別におすすめの本を選び，ポスターにして各教室に配布した。

○子ども司書養成講座への参加

・今年度は 6 年生 3 名が，子ども司書養成講座へ参加した。講座で学んだことを活かし，図書委員と一緒にカウンター業務を行ったり，読み聞かせをしたりした。

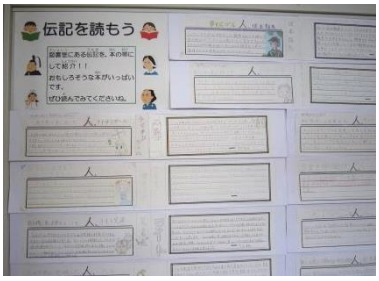
○『百科事典（ポプラディア)』の引き方の学習

・2 学期中に，読書活動推進員が，3～4 年生を中心にポプラディアを使って調べる方法を指導した。調べ学習のスタートラインとして，総合的な学習の時間に役立てることができた。

○本を紹介する取組

・5 年生が，国語科の時間に伝記を紹介する本の帯を作成し，図書室前の廊下に掲示した。

・読書クラブの児童が作成した本の POP を配架場所に合わせて掲示した。



取組４　読書環境の整備

○各学年おすすめ本の展示

・読書活動推進員が選んだ各学年の推薦図書にはシールを貼り，児童が手に取りやすい場所に配架した。

○市民図書館との連携

・本校は児童数が多いため，国語科や総合的な学習の時間の調べ学習に合わせて，市民図書館から本を借りている。多くの学年が市民図書館を利用している。

○学級文庫の工夫

・児童数が多いため，休憩時間のカウンターには長い列ができてしまうこと，また本が少ないのが本校の課題である。そのため，図書室のみならず，身近にも本がある環境作りとして，学級文庫の充実を図っている。一昨年度，浅原小学校図書室から譲り受けた本や，保護者団体から譲り受けた本を学級文庫へ配架し，学級文庫の本は学年間で交換し，いろいろな本が読めるよう工夫している。

○職員への紹介

・日頃，なかなか図書館へ行くことのできない職員のために，読書活動推進員が，読み聞かせにおすすめの本を市民図書館から借りてきて，職員室内に貸し出しボックスを設置した。学年ごとにおすすめの本が分けてあり，特に低学年の担任には好評であった。

廿日市市立大野西小学校
～本に親しみ　めざせ　年間一人５０冊～

○　本を読むきっかけづくり

・「子ども読書の日」

４月２３日は，「子ども読書の日」であることを知らせ，１人年間５０冊借りるめあてを達成することを伝えて読書への意欲付けを行った。また，２２日の朝の読書の時間に図書委員会の児童が各教室に分かれて読み聞かせをした。

・地域ボランティアによる読み聞かせ

毎週火曜日の朝の読書の時間に，全クラスで学年や季節に合わせた絵本や紙芝居を読んでもらった。

○　本を読むことの習慣化

・朝の読書

毎週月曜日と金曜日の朝の１０分間，全校一斉に実施した。

・保護者への啓発

読書活動推進員が「図書だより」を発行し，児童・保護者への啓発活動を行った。

○　読む力の育成

・図書委員会の取組

①　読書月間に，図書委員の児童が読んだ内容をもとに選んだ各学年に合う絵本を朝会で紹介した。また，各学年に合った本を校内６箇所に展示したりその本の内容に関するクイズを作って掲示したりした。クイズのキーワードを集めて言葉を完成させ，それを解答用紙に書いて図書室に持って行くとしおりがもらえる「クイズラリー」を開催した。

②　読書月間終了後，図書室の本を多く借りて読んだ児童（各学年３位まで）に図書委員会が賞状を作成して渡した。

○　読書環境の整備

・図書の展示

新しく入った本・子ども達に読んでもらいたい本や季節の本，古典の日などの行事に合わせた本を読書活動推進員が選び，展示コーナーを設置した。

・掲示物の工夫

図書室前の廊下に「こころの木」を掲示し，２５冊達成した児童の名前を貼った。５０冊達成すると賞状を渡し，掲示した。子ども達は達成感があり意欲的に本を借りていた。

「こころの木」

新しく入った本の展示

廿日市市立宮島小学校・中学校
～楽しく読んで詳しく学ぶ～

取組１　本を読むきっかけの提供

●教科書に出てくる本，教科書で紹介されている本を中心に推薦図書を選定。

●「子ども読書の日」の取組として読書感想カードを記入し掲示。学級担任の協力を得て，全児童生徒で取り組むことができた。

●「古典の日」の取組では，図書室内に関連図書の展示，古典クイズを実施。

取組２　本を読むことの習慣化

●毎週木曜日，朝 8:20～8:30 の読書タイムを習慣付けるため，啓発サインを全クラスへ配布。時間になったら図書係または図書・文化委員がサインを掲げ，読書を始める。
読書活動推進員，特別支援教育支援員等が見守りを行い「読むこと」への定着を目指す。

取組３　読む力の育成

●図書室の本や資料をもとに，学習したことを発表しその記録を図書室内に掲示。

《5 年生》

読書活動推進員による資料収集の補助。

児童自身が調べたい事柄，利用したい資料を選択。読んだことをもとにして「書く」「発表する」機会の充実を図った。

《2 年生》

●総合的な学習の時間の町たんけんで，宮島島内の消防署を見学。本や資料を活用し事前学習を行う。見学後のまとめ新聞,リーフレットを教室前に掲示。利用した本も展示した。

●委員会活動の取組みにおいてポップカードコンクールを実施。

読みたくなるような本を 1 人一冊選び，児童生徒全員が一枚のポップカードを作成。

自分の言葉で表現することを目標とした。

11 月文化祭で展示し，児童生徒,教職員,地域保護者の方による投票を実施。各賞を設け図書委員会より表彰を行った。展示したポップカードを見ての貸出し利用も増加し，充実した活動となった。

取組４　読書環境の整備

読書カードや本,資料を展示し,関心の高い事柄を取り上げた掲示物の工夫。

廿日市市立廿日市中学校
～本から学び，生き方を輝かせる～

取組１　本を読むきっかけの提供

・「校長先生おすすめの本」，「中学生に読んでほしい３０冊」等，テーマごとのブックコーナーを随時設け，季節や学習内容等に応じた推薦本の紹介
・図書委員会による読書カードづくり（文化祭で展示）

校長先生おすすめの本コーナー

取組２　本を読む環境の整備

・館内掲示物の見直し，ポップの工夫及び配架位置の検討
・学校図書館便りの毎月発行
・図書管理のデータベース化とバーコード管理による貸出の常時活動化

取組３　読書生活の充実にかかわる取組

○読書生活の充実(読書指導)

・月曜日から金曜日の毎朝１０分間，全校一斉読書の実施（毎朝８：２０～８：３０の読書の時間を日課表に設定）→図書委員が呼びかけと，点検をして，全校生徒が本に読み浸れるようにしている。
・図書委員会の取組：蔵書整理，朝読書の運営，昼休みの本の貸出・返却，「ブックレビュー」の作成，「全校しおりコンクール」及び「個人別貸出冊数の表彰」等の取組

図書委員おすすめの本コーナー

○計画的な利用指導（情報活用指導）

・教科等での取組：国語科や社会科でマップ・図表などを使った調べ学習
・総合的な学習の時間での取組：職業調べ，地域のことについてなど，情報活用の場としての利用

○家庭・地域との連携

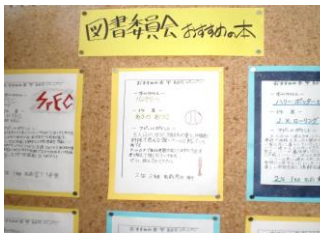
・地域読書ボランティアによる読み聞かせ活動
・学級や図書館への寄贈図書の依頼
・小学校と指導内容や方法について連携
・家庭での読書習慣の定着を呼びかけ

廿日市市立七尾学校
～生徒が読書に関心を持ち親しむことができる取組～

取組１　本を読むきっかけの提供

○ポスター「おすすめの本」

図書委員がそれぞれ自分の薦める本についてポスターを作りました。本の内容，薦める理由，イラストなどで魅力を伝え，出来上がった２２枚のポスターを校内に掲示しました。年度の早い時期に作製し，学校図書館に誘う雰囲気を作りました。



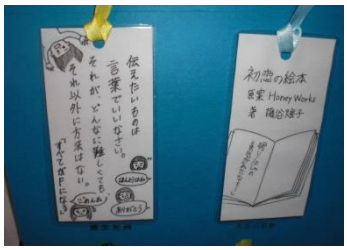
○「子ども読書の日」の読み聞かせ

給食後の図書室で絵本の読み聞かせを行いました。図書委員会の生徒も読み，親しみを持ってもらいました。

取組２　本を読むことの習慣化

○１人１枚「しおり」の作製

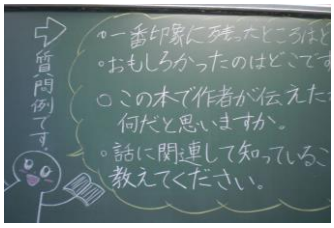
朝読書で読んでいる本を中心に，自分の気に入っている本のしおりを作りました。印象に残ったフレーズを入れた生徒が多く，文化祭に展示後，学校図書館前にも引き続き展示し，その後は返却して利用してもらいました。



取組３　読む力の育成

○全校で読書会

朝の読書の時間を使い，学級で同じ本を３日間読んで，４日目に読書会を持ちました。昨年に引き続いて，今年度２回行いました。前もって黒板に用意しておいた質問例を参考に，４～５人の班に分かれ，感想の交流ができました。



取組４　読書環境の整備

○「古典の日」に古典の朗読を放送

「古典の日」に合わせて読書活動推進員の先生が展示をするとともに，文芸書道部が古典落語を朗読し，給食中に放送しました。楽しんで聞いたようです。

廿日市市立阿品台中学校
～「読書習慣を促す取組」と「読書の質を高める取組」～

阿品台中学校では，「読書習慣を促す取組」と「読書の質を高める取組」を進めています。昨年度に引き続き，これらの定着をはかる取組をまとめて紹介したいと思います。

読書習慣を促す取組

取組１　本を読むきっかけの提供

○ボランティアの方々による読み聞かせ（全学年）

全学年，毎月１回程度朝読書の際に，ボランティアの方々による読み聞かせを行っています。絵本が中心ですが，多くの心に残る作品に出会うことにつながっています。

○1 人１冊借りようデー（図書委員会主催・全学年）

１学期の初め，「子ども読書の日」にあわせて，学年ごとに１週間ずつ重点週間を設定し，１人１冊図書室の本を借りようと呼びかけるキャンペーンを行っています。特に１学年は，中学校の図書室の利用の仕方を知る良い機会になっています。

○図書だより（図書委員会）

毎月１号，図書委員による図書室からのお知らせとともに，図書委員からのおすすめ本のあらすじを紹介しています。

○展示図書の工夫

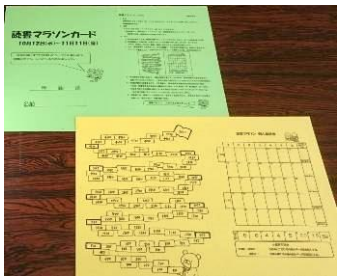
図書委員からのコメントを書いたおすすめ本コーナーや，季節の行事や古典の日にちなんだ展示コーナーをつくり，より多くの本に興味や関心をもってもらう工夫をしています。

○しおりコンクール（図書委員会主催・全学年）

図書委員主催で，しおりコンクールを行っています。しおりには，これまで読んだ本のあらすじや，読書に関する言葉やイラストを描いて応募してもらいます。その後，投票を行い，優秀な作品は来年度図書室で配布するしおりのデザインにしています。

取組２　本を読むことの習慣化

○読書マラソン（図書委員会主催・全学年）



読書週間に合わせて，読書したページ数を記録し，クラスや個人で競う取組をしています。この時期の図書室の来室数や貸し出し冊数は増加するとともに，取り組み表は自身の読書記録として返却しています。

○１００冊読書手帳

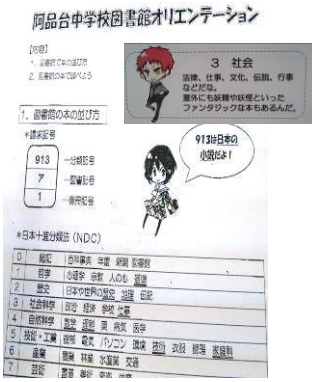
廿日市市民図書館と連携し，100 冊手帳を展示しています。

読書の質を高める取組

取組３　読む力の育成

○廿日市市民図書館との連携によるスキル学習（１学年）

一昨年から廿日市市民図書館と連携し，１学年を対象に図書館オリエンテーションを行っています。図書の分類番号や配架を学ぶだけでなく，情報収集や情報活動の方法などのスキルを身につけることができました。これが，他教科の学習の土台となっています。

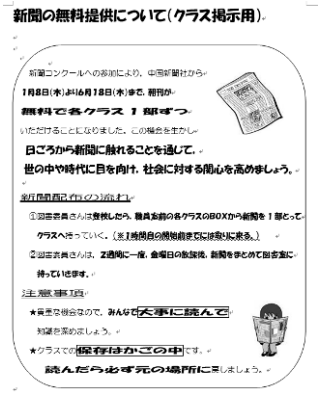


○日めくりカレンダー―～心に残った詩・名言～（全学年）

４月に各クラスで，心に残る，他の人に紹介したい詩や名言の入った日めくりカレンダーを一人一枚作成しました。この時，図書室から各クラスに本を貸し出し，様々な作品に触れながら，心を豊かにする取組へとつなげることができました。

○中国新聞社からの新聞提供（全学年）

みんなの新聞コンクールに出品したことから，新聞を各クラスに１部ずつ配置し，休憩時間などに社会の動きに触れる取組をしています。社会科だけでなく，国語科，進路学習などさまざまな学習につながる取組となっています。



○修学旅行の班別自主研修計画（２学年）

２学年修学旅行での京都班別自主研修の計画を行う際，京都に関する資料を提供することにより，授業での活用を進めました。

○広島学習（３学年）

３学年では９月に平和公園を訪れ，広島に生きる者として平和と将来の生き方を考える学習を行いました。読書推進員と連携し，５月のオバマ大統領が広島を訪れた新聞記事や，「知る原爆」という新聞資料を取り寄せ，配布し，事前学習をしました。改めて原爆や戦争の詳細を学び，平和の尊さに気づくだけでなく，自らの生き方を考える学びへ役立てることができました。

○みんなの新聞コンクール出品（全学年）

社会科では，学年ごとに単元とリンクさせ，テーマに応じた情報収集と，新聞作成のための資料提供を行いました。３学年では，新聞資料の提供も行い，授業と連携を進めました。

○職業調べ（１学年）

１学年職業調べの学習で，図書室のさまざまな職業についての本や資料を提供しました。

○進路資料（全学年）

上級学校のパンフレットなどを，進路情報として図書室で閲覧できるようにしました。

今後も，新しい取組や改善などをしながら，「読書習慣を促す取組」とともに，「読書の質を高める取組」を続けていきたいと思います。

廿日市市立野坂中学校
～「たくさん読む」ための取組～

取組１　本を読むきっかけの提供

・はつかいち市民図書館との連携

司書の方による図書館オリエンテーションを実施し，１年生を対象に調べ学習の手順，図書館の利用の仕方などを教えていただいた。

・「古典の日」の取組

折り紙や写真を活用して古典の作品や和歌を図書室内に掲示し紹介した。

取組２　本を読むことの習慣化

・多読者表彰

図書の貸出冊数が多い生徒を，月ごとに生徒玄関に掲示し，学期ごとに表彰を行った。

・図書室便りやポスターで図書の紹介，市民図書館や県立図書館の利用やイベントの案内を行った。

取組３　読む力の育成

・ブックカードコンテスト

文化祭で教員と生徒会執行部による審査，全校生徒による投票を行い，選ばれた作品は校内，はつかいち市民図書館に展示された。

・図書委員によるお勧めの本のポスター

図書室にコーナーを設け，本と一緒に展示，紹介をした。

取組４　読書環境の整備

・総合的な学習の時間，季節の行事，最近の話題などに関連したコーナーを設け，クイズを取り入れた図書の紹介などをした。

廿日市市立四季が丘中学校
～生徒の委員会活動を中心とした学校図書館～

取組１　本を読むきっかけの提供

○しおりコンクール

図書委員会が主導となって，「しおりコンクール」を実施しました。色画用紙に自分のおすすめする本の紹介文を，イラストも添えて書き上げました。全校生徒が積極的に参加し，選定に迷う力作揃いでした。文化祭で展示し，地域の方にも見ていただきました。また，優秀作品については，市立図書館にも企画展示品として展示されました。

取組２　本を読むことの習慣化

○全校一斉朝読書

図書委員が声かけをし，毎朝全校一斉に朝読書を実施しています。読む力を育むとともに，落ち着いて一日をスタートさせることもできます。朝読書の始まりも時間が決められており，２分前には全員が着席し朝読書を開始するよう図書委員の生徒が働きかけます。

取組３　読む力の育成

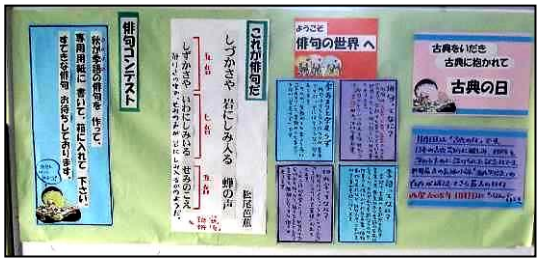
○読み聞かせの実施

地域のボランティアの方による読み聞かせに加え，図書委員による読み聞かせも実施します。本の選定，読み方の工夫も生徒自身で考えます。様々な本を知り，読書の幅を広げる目的も含まれています。

取組４　読書環境の整備

古典の日や部活動をテーマにしたコーナー展示を随時実施しています。また，図書館以外にも廊下や階段にもポップカードを掲示するなど，学校全体で読書活動を推進しています。

廿日市市立佐伯中学校
～競争しながらたくさん読もう！図書委員会の取組を中心に～



取組１　本を読むきっかけの提供

○「古典の日」の取組

・古典の日の紹介

・俳句の説明の展示作成

・俳句コンテスト実施（文化祭）

・国語科第３学年俳句展示＆秀句投票（文化祭）

・俳句コンテスト結果発表（朝礼）

○図書委員「おすすめの本」コーナー・ＰＯＰ作成

○図書委員有志によるＰＯＰ作成（文化祭）

○図書委員による月１回の新刊紹介（ＳＨＲ）

○学校だより（「教職員おすすめの本」特集号）

○読書ボランティアによる読み聞かせ（月１回）

取組２　本を読むことの習慣化

○朝読の時間（10 分間・週４日）

○学級文庫の設置及び学期ごとの本の入れ替え

○クラス対抗「本貸出冊数競争」の実施

・学期ごと優勝クラスのリクエスト本を購入

取組３　読む力の育成

○記述を根拠に登場人物の人柄や心情を捉える活動

○グラフや図と本文を関連付けて読む活動

○複数の文章を比較し，文章の特徴を捉える活動

取組４　読書環境の整備

○図書室前のテーマ展示

・「命の大切さについて考える日」

・「読書でトライアスロン」

・「古典のこころ」

廿日市市立大野中学校
～本を読んで説明する力をつけよう～

取組１　本を読むきっかけの提供

・図書委員会による図書便りの作成。

・学校図書館近くに推薦図書を掲示。

取組２　本を読むことの習慣化

朝読タイム（月曜~水曜 8:20～8:30）※木金は視写

図書委員による朝読の呼びかけ・教室文庫の充実

取組３　読む力の育成【国語科における取組】

①読んだことをもとにして「書く」「発表する」機会を充実させる。

・「ことばの輝き」優秀作品コンクール等校外への取組へ応募

・インターネットから必要な情報を読み取り，それを根拠として日本の文化を紹介する活動

②本を紹介する取組

・他学年を対象に，読んだ小説を紹介するため心に残った一文を使い POP を作る活動

取組４　読書環境の整備

貸し出し個人ランキング表　→

学校図書館の掲示物や配架の工夫↓

↑　おはなし会 →

廿日市市立大野東中学校
～本を読むことが好きな生徒を育てるための取組～

取組１　本を読むきっかけの提供

○　図書委員によるおすすめの本の紹介

図書委員によるビブリオバトルも毎年恒例になりました。

図書委員のおすすめの本を実際に手に取れるコーナーです。

○　読書ボランティアによる読み聞かせ

みんな集中してボランティアの方のお話を聞いています。実は，昔聞いた，よく知っている絵本の読み聞かせも人気があります。

○　タイムリーなおすすめの本の特集

その時期話題になっている出来事に関連した図書を展示し，生徒の読書意欲を喚起します。

芥川賞，直木賞もすぐに新聞記事を紹介し，受賞作家の作品を展示します。

取組２　本を読むことの習慣化

○　朝の一斉読書

朝のＳＨＲ前の１０分間，静かに本を読みます。普段なかなか本を読む時間を作ることができなかった生徒も，朝の一斉読書がきっかけで本を読むようになりました。

取組３　読む力の育成

○　読書感想文コンクールへの参加

学校独自の課題図書を選定し，読書感想文を書く活動を行いました。読んだことをもとに書く機会を作りました。

取組４　読書環境の整備

平成２８年度　読書活動推進に係る取組《廿日市市教育委員会》

H28子ども司書養成講座

6月	7月	8月	9月	10月	11月	2月
全体研修①	実地研修	（地域の図書館）	全体研修②	秋の活動	（地域の図書館および学校）	認証式

読書活動を推進するリーダー（子ども司書）を養成する講座です。子ども司書が学校や地域で読書の楽しさや大切さを広めることで児童の読書活動の充実を図るとともに、学力向上を図ることを目的としています。この講座は平成２５年度から市主催で実施しています。本年度は 22 名が受講しました。
（対象：小学６年生）

全体研修

全体研修では、ビブリオバトルをしたり図書館案内を作ったりしました。読書好きを増やすための話合いもしました。

実地研修は、各図書館及び学校での研修です。カウンター業務や配架、本の修理などをしたり、読み聞かせをしたりしました。

実地研修・秋の活動

【児童の感想から】
- 本について話す友達が他の学校でもできた。
- 司書という仕事にこれまで以上に興味を持つことができた。
- 本好きを増やすための活動はとても楽しかった。
- 図書館の書庫やカウンター、ふだん入れないところへ行けて嬉しかった。

全員「子ども司書」に認定されました！

H28読書活動推進員研修会

市内小・中学校に読書活動推進員を配置しています。今年度は２回、児童生徒が図書に親しむための読書活動推進のあり方について研修しました。

第２回目は、読書活動推進員のみの研修です。不読率０にする取組を話し合ったり、ポップを作ったりしました。

第１回目は、大竹市・廿日市市教育研究会図書館教育部会と合同で行いました。秋に行われた広島県大会で提案する内容について、協議しました。他市の読書活動推進員さんの話も聞きました。